

三月に参り申しなむ。日本はまた寒く日がついにあります。

この度りの法政文庫の「逝去のゆき」を驚きのれに事と仰しあります。平素の丈夫で

元氣に活動しては、方角リに、皆んなが驚きのふりあります。

去年の十二月十八日、加納岩病院に入院。胆管に石がついた。その日、二月手術するとの事ですが、元氣よく治してしまわれり。大した病氣とも思ひませんでした。ところが一月に参り、胆や肝臓の著名な医師

のいふ、東京女子医科大学病院に入院したこのこと、近頃の医者が多いので、名医のところへ行き、完全な設備のところまで手術するのをごきつと、恢復も速い事と想像して、

ところが二回、三回、手術したところ、如何から心配して、元氣回復の遅い。あさか、こんな死をなんぞ考え、思ひました。二日の夜おとく、就寝してから、七時四十分、に永眠したとの報。十日四十分、遺体が届りお宅へ帰つて参りました。

誠に悲しい帰途でした。私自身も待つて、床に参りました。お宅に作置かあり。

暖かおしん

三日夜 近頃ご通夜

四日一般人と通夜

五日午後一時より 自宅ご告別式 7:00

宝樹院ご葬儀 7:30

六日別荘ご葬儀 8:00 成田大葬儀

故り生前の活動 社会への奉仕を語つて

ました

若い時から 自家の農業、社会的活動、政治家

として 又保育事業として 一方活動してきて

二男二女の子供を育てる 立派な成長して 此のうら

老後の平安な生活を 樂しめる 時々 突如折去

誠々悲しい事です

葬儀は 東京より 鈴木不祥の兄弟列され 又

高橋、鈴木不祥が二人の生花を供えられ

遺してスゴウの 気持ちで皆さん 信之うらやま

最初の病状は 出岩の正子と 同様にしるが正子は

幸い 三回入院病退院と繰り返して 今自宅に

療養生施設を 開設してあります

このあたりで 近況を報告させていただきます

故子孫に 宛てて

三月分の如く 宛て

友枝様



RECEIVED
MAR 11 1988

Ans'd.....

VIA AIR MAIL

高橋反枝様
サンフランシスコ
北米合衆国

Mrs. J. Takahashi
235 Fifteenth Street
San Francisco Calif 94103
U. S. A.